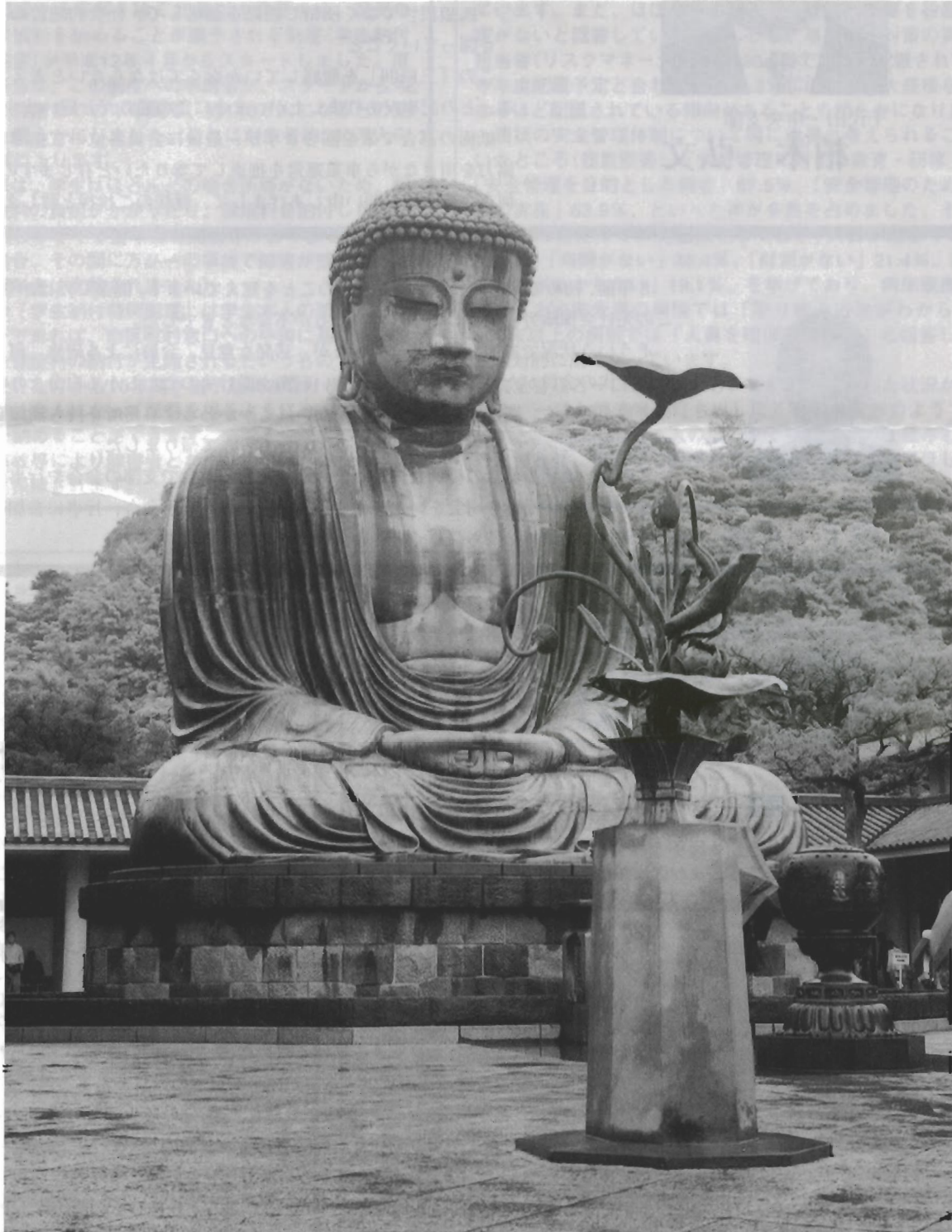


東京都社会保険労務士会 会報

千代田・中央支部

事務局 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-13-1 旺巧ビル
柏木労務管理事務所内 ☎03(3295)4651 発行人 柏木弘文



鎌倉 露座の大仏

牧野武夫会員撮影

支部長三選の挨拶



千代田・中央支部

柏木 弘文

昨年秋、支部選挙が公示され、次期役員等(支部長、理事、代議員)の選挙の結果、私が三期支部長として重責を果たすことになりましたが、会員の皆様はじめ、関係行政、関係団体の皆様のご指導、ご協力のほどよろしくお願い致します。

さて、社会保険労務士を取り巻く環境は近年にない厳しいようではありますが、どんなことでもクリアーしていかなければなりません。そこで今後「社会保険労務士はいかにあるべきか」の問いに対しまして、東京都社会保険労務士会の大槻哲也会長がある機関誌で「三原則」を上げています。

①労働社会保険諸法令の専門法律職であることをしっかりと自覚すること

②研修を積み重ねて資質を高め、知識と実務に精通すること

③一匹狼根性でなく団結し組織を強化して、社会的地位の向上を図っていくこと

この「三原則」を徹底していかななくてはならないと考えている、との記事がありました。まさにこの通りだと思います。

紙面の都合で筆を置きますが、最後に会員各位のご指導とご協力を頂きながら事業運営を推進して参りたいと存じますので、何卒よろしくお願い申しあげまして、就任のご挨拶と致します。



総務委員長

段下 正志

8年前、初めて支部の会合に出たときのことを覚えています。開業したばかりで、この先社会保険労務士としてやっていけるか不安なときでした。

そういう状況で参加した支部会でしたが、活発な意見、会員による研修、何よりも同年代の会員がたくさんいたことに強い刺激を受けました。しかも自分より年下の会員が何人も。聞けば、開業して間がないにもかかわらず事務所を持ち活躍しているとのこと。その後も会合に出るたび元気をもらって帰りました。

この度、総務委員会の委員長になりました。総務委員会で支部の会合や行事の案内をお送りし、受付や司会をいたします。どうぞ、皆さんも会合、行事に参加していただいて元気をお持ち帰りください。お待ちしております。



研修委員長

半沢 公一

諸法令は頻繁に改正され、ますます複雑になり、労務管理の手法も、時代や企業の変化に合わせて生き物のように変貌しています。今まで以上に法改正のメンテナンスや労務管理のための情報収集、手法のマスターが必要になってくるでしょう。

支部の研修では、「業務にすぐ役立つ研修」を目指し、他の委員と協力し運営していきます。多くの会員参加により、研修会が盛り上がることを期待しています。

研修を受けることは、社労士法において努力義務になっています。だから、「研修を受けなくても、まあ、いいや」と思っていると、時代に乗り遅れてしまうかもしれませんよ。



厚生委員長

高根 祐司

2期4年間の厚生委員を経験し、今期厚生委員長をお引き受けすることになりました。

これからの社会保険労務士は、1つでも多くのネットワークを持つことが大切だと思っています。このネットワークを拡げるためには、会員間の交流が求められます。この会員間の交流を図る場を提供する事が厚生委員会の役目であると思います。

支部厚生事業は、毎年恒例の行事となっておりますが、他の厚生委員の方々と協力して開業社会保険労務士および勤務社会保険労務士の会員の多くの方に参加してもらえるように取り組み、その中で会員同士の交流および親睦を今まで以上に深めることができるよう頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

新副支部長就任の挨拶



第一部会長兼
副支部長(日本橋担当)
吉瀬 君江

私は今まで4年間総務委員長としてどれほど役に立てたのか反省しつつも、今期第一部会長の役を受け、責任の重さを痛感しています。

会員が例会に参加できる部会の運営を行うことがどうしたらできるのか？第一部会の委員の方々の力を借りていこうと思っていますのでよろしくお願いします。

私事になりますが、5月30日はゴミゼロデーに指定されており、町会のクリーンデーに参加をし、またクリーンハイキング(山)にも参加をしました。強制ではありませんが、呼びかけに応じて参加をしたことで得るものがたくさんありました。私たち社会保険労務士の仕事は与えられるものではなく自ら創り上げていくものだと思います。会員の皆様のご協力とご支援をお願いします。



副支部長(麹町担当)
小林 包美

規制改革、司法制度改革、電子申請等、社会保険労務士の業務も大きく変わろうとしている現在ですが、今期副支部長をお引き受けすることになりました。

企業だけではなく、社会保険労務士にとっても厳しい時代ですが、そのような時代だからこそ、会員の方々と協力して積極的に支部活動等を展開し、組織に活力を生むことが必要ではないかと思っています。

副支部長の職務は、支部長を補佐し、他の役員の方々と協力して支部の運営をスムーズに行うことだと思っていますが、例会、研修会、行政協力等、誰もが積極的に参加できるような環境を作っていければと考えています。

2年間よろしくお願い致します。



副支部長(神田担当)
小室 文菜

会員の皆様におかれましてはますますご清栄の事とお慶び申し上げます。この度、神田地区担当副支部長を仰せつかりました。

同職につきましては、昨年9月より副支部長代行として任に当たっておりましたが、あまりの大役に躊躇するばかりの半年間でした。今期、改めまして任命を頂き、いつまでも遠慮をしては、かえって無責任ではと思いを新たにしております。

神田地区会員は開業94名(平成13年4月30日現在)となっております。支部の活動をはじめ、管轄の社会保険事務所および労働基準監督署との行政協力につきまして、神田地区会員の皆様がより理解を深め、より積極的に参画できますよう橋渡し役となっていく所存でございます。何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。



副支部長(京橋担当)
下山 博夫

第二部会の多くの皆さんは、毎年、勤務社会保険労務士として、年会費を納める義務だけを履行し、支部活動を利用する権利の行使を怠っていませんか。

目下のところ、1回でも2回でも研修会に参加して会費の元をとり、あわせて資質の向上を図ることが権利の行使につながるのではないかと思います。今期、柏木支部長から第二部会副支部長の指名をいただき3ヵ月を経過した感想です。

当支部第二部会は700名を超える大所帯であります。研修会の際に、皆さんからご意見、ご要望を伺い、支部や東京会の活動に反映されるよう努力して参りますので、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

千代田・中央支部機構と委員会分掌業務表 (順不同・敬称略)

支部長 柏木 弘文 TEL(3295)4651
FAX(3295)4650

監査 石野 喜次 TEL(3328)2571
FAX(3328)2571

山崎 雅也 TEL(3669)0677
FAX(3669)0679

顧問

新堀 英行 TEL(3254)1955
FAX(3254)1953

大槻 哲也 TEL(5275)2801
FAX(5275)2588

山本 弘之 TEL(3263)0931
FAX(3265)7746

仲野 三郎 TEL(3251)1061
FAX(3251)1061

相馬 誠一 TEL(3251)5141
FAX(3251)5142

金網 久夫 TEL(3291)4167
FAX(3291)4163

副支部長

吉瀬 君江
TEL(3532)7908
FAX(5144)4551

浅香 博胡
TEL(3252)6123
FAX(3252)5742

小室 文菜
TEL(3851)7371
FAX(3851)7240

浅香 博胡
TEL(3252)6123
FAX(3252)5742

小林 包美
TEL(3221)3647
FAX(3221)3648

望月 敏夫
TEL(5758)2453
FAX(3497)8388

渡邊 和洋
TEL(3574)7572
FAX(3571)7235

下山 博夫
TEL(3292)5003
FAX(3292)3186

厚生委員会

- ①懇親会等の企画・立案および開催に関すること
- ②旅行会等レクリエーションに必要な企画・立案および開催
- ③会員のコミュニケーションに関すること

		TEL	FAX
委員長	高根祐司	(3239)2985	(3239)2986
副委員長	小室 豊	(3262)1488	(3262)1484
委員	新井功一	(3230)1751	(5210)7263
	小林幸雄	(3261)4911	(3261)7790
	松林清雄	(3553)9601	(3555)9823
	横尾直子	(3234)5274	(3238)1813
	笠原正造	(3263)0931	(3265)7746
	関根 康	(5550)1619	(5550)1644
	田中幸夫	(3668)0451	(3639)9426

総務委員会

- ①会員の掌握、連絡に関すること
- ②文章の起草、受発信保管等庶務に関すること
- ③関係官庁等渉外に関すること
- ④金銭出納、予算、決算等会計に関すること
- ⑤諸会議の開催
- ⑥その他、他の委員会に属さない一切の事項に関すること

委員長	段下正志	(3288)0354	(3288)0922
副委員長	府川洋輔	(3553)0987	(3553)0988
委員	雨宮 功	(3863)7633	(3863)7634
	石原健三	(3294)5307	(3294)9345
	椎野登貴子	(5275)2855	(5275)2859
	本間邦弘	(3544)1898	(3544)1899
	味園公一	(3566)7879	(3263)3130
	森 俊介	(5213)8061	(3230)1351
	大森秀雄	(3291)4167	(3291)4163
	古川泰一郎	(5707)2071	(5707)2071
	山本金治	(3252)7651	(3252)5590

研修委員会

- ①研修会、講習会等の企画・立案および開催
- ②社会保険労務士業務の改善に必要な調査および研究
- ③社会保険労務士業務に必要な資料、情報等の収集に関すること
- ④その他教育、調査研究に関すること

委員長	半沢公一	(3239)2266	(3239)2355
副委員長	大畑雅弘	(3237)7890	(3237)7160
委員	遠藤元基	(3866)2684	(3866)2615
	寺田 晃	(5275)2801	(5275)2588
	戸室康廣	(3230)8588	048(811)1812
	橋本敬司	(5215)5801	(5215)5802
	酒井裕樹	(3865)9521	(3865)9524
	藤井絢子	(3502)9903	(3502)3081

広報委員会

- ①支部会報の企画・立案および発行に関すること
- ②社会保険労務士に必要なPRに関すること

委員長	牧野武夫	(3251)1061	(3251)1061
副委員長	下山博夫	(3292)5003	(3292)3186
委員	恩田和明	(3256)4451	(3256)4452
	加藤 孝	(3251)1061	(3251)1061
	勝本京子	(3639)4192	(3639)4193
	滝口修一	(3862)6665	(3862)6499
	須藤光雄	(3563)7941	(3563)1326
	望月仁男	(3664)1661	(3661)8239

朝比奈睦明
TEL(5212)2192
FAX(5212)2299

小島 史明
TEL(3262)0326
FAX(3262)0228

辻元 均
TEL(3543)2069
FAX(3543)2090

夏坂由季子
TEL(5570)1911
FAX(3511)7857

細川 宏美
TEL(5297)2738
FAX(5297)2738

石川 英豊
TEL(3206)4550
FAX(3523)0157

玉田 壤三
TEL(3241)0826
FAX(3241)9794

長森 敏泰
TEL(3264)6871
FAX(3234)0049

藤原 久嗣
TEL(3543)6326
FAX(3543)6169

平成13年度

事業計画をお知らせします

1 今年度の支部重点施策

社会保険労務士業界と当支部をめぐり環境変化を考慮し以下の項目からなる重点施策を掲げ、今年度の支部活動を進めていく。

- ① 会員増加に対応した支部組織の強化と資質の向上を図る。
- ② 新規入会者に対する社会保険労務士としての心構えや支部活動の理解を深めるため、セミナーの充実を図る。
- ③ 会員相互の情報交換と一層の資質向上のため、支部研修会の充実を図る。

2 具体的支部事業

今年の具体的支部事業は、上記重点施策を踏まえ次の通りとする。

(1) 組織の強化対策

- ① 会員増加に対応した組織の在り方並びに事務局機能の充実について研究する。

- ② 組織の強化に必要な事業を行う。

(2) 資質の向上対策

- ① 資質向上のための研修会を開催する。

- ② 会員相互の情報交換のための事例研究を検討する。

(3) 中央地区協議会(千代田・中央支部、文京支部、台東支部の構成)活動

- ① 中央地区協議会の行う街頭相談事業への積極的参加。

- ② 中央地区協議会の親睦を図るため事業への参加。

(4) 関係行政機関等への協力

- ① 中央労働基準監督署の行う労働保険指導員制度への参加促進及び労働保険新規加入説明会への講師派遣。

- ② 社会保険事務所への算定基礎届相談員の派遣及び未適用事業所適用促進巡回説明の実施。

- ③ 中央区役所への年金相談員派遣、及び千代田区役所への区民相談員の派遣。

- ④ 東京商工会議所への相談員派遣。

- ⑤ 労働基準監督署・公共職業安定所への名札掲示の整備実施。

- ⑥ 税理士等、他士業との交流の実施。

3 支部の活動日程

(1) 支部会議の日程

平成14年4月10日(木)

(2) 正副支部長・委員長会議開催予定日

平成13年5月24日(木)、6月14日(木)

7月4日(木)、9月12日(木)

10月5日(金)、11月14日(木)

12月12日(木)

平成14年1月11日(金)、2月13日(木)

3月13日(木)→3月12日(火)に変更

4月10日(木)

(3) 幹事・監査・顧問会議開催予定日

(年4回正副支部長・委員長会議と同日に開催)

平成13年5月24日(木)、9月12日(木)・夜

平成14年3月13日(木)→3月12日(火)に変更

4月10日(木)

(4) 例会開催予定日

平成13年7月4日(木)

10月5日(金)

11月6日(火)

平成14年1月11日(金)

3月13日(木)→3月12日(火)に変更

(5) 委員会開催予定日

年4回程度とし、必要に応じ開催する。

(6) 研修会開催予定日

平成13年6月14日(木)支部必須研修

7月4日(木)

10月5日(金)

11月6日(火)地区協必須研修

平成14年1月11日(金)

3月13日(木)→3月12日(火)に変更

(7) 会報の発行予定日

年4回発行する。(7月、10月、1月、3月)

(8) 懇親会の開催予定日

平成13年10月5日(金)~10月6日(土)

平成14年1月11日(金)

4月10日(木)

(9) その他の行事

① 東京商工会議所相談窓口

……4月、5月の毎週水曜日に協力する。

② 労働保険新規加入事業場説明会

……文京支部と交互相当につき概ね隔月協力する

③ 中央区役所年金相談コーナー

……4月より毎月協力する。

④ 臨時労働保険指導員及び相談コーナー

……5月、6月に協力する。

⑤ 千代田区役所区民相談(千代田図書館内)

……4月より毎月協力する。

⑥ 算定基礎届相談コーナー

……8月に協力する。

⑦ 労働保険適用促進協力

……10月に協力する。

⑧ 支部ボウリング大会

……11月に開催する。

⑨ 未適用事業所適用促進協力

……2月、3月に協力する。

⑩ 新規入会者懇談会

……2月に開催する。

⑪ 関係官庁との事務打ち合わせ会

……随時開催する。

支部会長就任の挨拶

政治連盟 千代田・中央支部会長

渡 邊 和 洋



平成13年4月11日に開催された第15回支部定期大会において、恩田前支部会長の後任として就任致しました、京橋地区の渡邊和洋です。

前支部会長が精力的に活動された後だけに、同じように職責を全うできるか不安もありますが、支部会員の皆様のご協力により2年間の任期を務めあげたいと思います。

政治連盟の必要性は今まで「政連だより」において幾度となく述べられていますが、皆様も今一度考えて頂きたいと思います。

「牢獄の中を歩き回る自由よりも、荒波であってもどこまでも泳げる自由を私だったら選ぶ。」

文言は正確ではありませんが、この言葉はかわぐちかいじ氏の「沈黙の艦隊」で「やまと」海江田艦長が言ったものです。

私は現在の社会保険労務士業界を牢獄だと言っている訳ではありません。他人から与えられた職域で満足しているのであれば、職域を狭められてもそれに甘んじなければなりません。自らの職域は自らが造る。膨大なエネルギーを必要としますが、そのエネルギーを集約して法改正に結びつける役目が政治連盟の組織です

会員の皆様には、政連会費の納入と支部活動へのご協力をお願いして、就任のご挨拶と致します。

東京都社会保険労務士政治連盟 千代田・中央支部 役員名簿(平成13年度)

役 職	氏 名	電話番号	FAX番号
支部会長	渡邊 和洋	3574-7572	3571-7235
副支部会長	吉瀬 君江	3532-7908	3532-7908
副支部会長	浅香 博胡	3252-6123	3252-5742
副支部会長	新井 功一	3230-1751	5210-7263
副支部会長	望月 敏夫	5758-2453	3497-8388
幹 事 長	段下 正志	3288-0354	3288-0922
副幹事長	小島 史明	3262-0326	3262-0228
幹 事	柏木 弘文	3295-4651	3295-4650
幹 事	古川泰一郎	3263-0781	3239-2248
幹 事	小林 包美	3221-3647	3221-3648
幹 事	下山 博夫	3292-5003	3292-3186
幹 事	小室 文菜	3851-7371	3851-7240
幹 事	大森 秀雄	3291-4167	3291-4163
幹 事	半沢 公一	3239-2266	3239-2355
幹 事	関根 康	5550-1619	5550-1644
幹 事	高根 祐司	3239-2985	3239-2986
幹 事	酒井 裕樹	3865-9521	3865-9524

役 職	氏 名	電話番号	FAX番号
幹 事	牧野 武夫	3251-1061	3251-1061
幹 事	山本 金治	3252-7651	3252-5590
幹 事	横尾 直子	3234-5274	3238-1813
幹 事	藤井 絢子	3502-9903	3502-3081
幹 事	滝口 修一	3862-6665	3862-6499
幹 事	山本 弘之	3263-0931	3265-7746
幹 事	山崎 雅也	3669-0677	3669-0679
幹 事	石原 健三	3294-5307	3294-9345
幹 事	勝本 京子	3639-4192	3639-4193
幹 事	仲野 三郎	3251-1050	3251-1061
幹 事	石川 英豊	3206-4550	3523-0157
幹 事	新堀 英行	3254-1955	3254-1953
幹 事	府川 芳枝	3553-0987	3556-0988
幹 事	相馬 誠一	3251-5141	3251-5142
監 査	金網 久夫	3291-4167	3291-4163
監 査	恩田 和明	3256-4451	3256-4452

(順不同)



国民年金保険料 20歳以上の学生 6割が『学生納付特例制度』申請

夜間部や通信部を除く20歳以上の学生は、国民年金の保険料を納めることが猶予される制度(学生納付特例制度)が平成12年4月からスタートしました。厚生労働省は、この制度への申請者が、スタートから今年の3月末までの1年間で、約140万人になるとの見通しを明らかにしました。これは対象者約230万人の約60%に上ります。

従来は、学生はほとんどの場合所得がないため、親に保険料の負担がかかったり、保険料を納付しないために起こってくる無年金の問題等がありました(未加入の場合、その間に万が一の事故で障害が残っても障害基礎年金は支給されません)。

この「学生納付特例制度」は学生本人の所得が一定額以下であれば、市区町村窓口への申請に基づき、国民年金保険料の納付が免除されるというものです。免除を受けた月から10年間で猶予期間となりますから、学生が社会人になって所得を得るようになってから保険料を納めることができます。免除を受けている期間中に事故等により障害者となった場合も、障害の程度により保障されます。

まだまだ不十分!?病院の安全管理体制

厚生労働省は病院での安全管理体制の取り組みを推進するため、その実態を調査し、このたび「医療機関における安全管理の実施状況に関する調査」の形で発表しました。

このアンケートは昨年10月から12月に、全国200床以上の病院2,810施設と、無作為に抽出した200床未満の病院646施設の合計3,456施設を対象に行われ、全体の45.3%にあたる1,564施設より回答が寄せられました。それによると、安全管理体制確保のための委員会を設置している病院は全体の73%で、本年度中に設置する予定がある病院を合わせると86%にのぼることが判りました。

一方、安全管理のための専門部署を設置しているところは全体の16.8%と低く、今年度設置予定分を含めても30.7%となっています。また、ほぼ半分の病院で今後専門部署を設置する予定がないと回答しています。しかし、事故防止対策の実務的な担当者(リスクマネージャー)は38.2%ですすでに配置されており、今年度配置予定と合わせると57.2%にのぼり、大規模な病院になるほど配置されている傾向があることも明らかになりました。

現状の安全管理体制について特に重要と考えられることを聞いたところ(複数回答)、「安全管理に対する教育・研修」84%、「安全管理を目的とした報告」67.5%、「安全管理のための委員会の実施」63.9%、といった声が多数を占めました。その一方で実施に当たっての問題点としては、「人員が確保できない」42.3%、「時間がない」38.4%、「財源がない」21.4%、「取り組み方法がわからない」19.1%、を挙げており、病床規模別にみると、200床未満の病院では「取り組み方法がわからない」、300床以上の病院では「人員を確保できない」と回答した割合が相対的に高くなっています。

安全管理と一口にいっても、各病院の置かれた状況が異なるため、一様な解決策が打ち出しにくいのが実態のようですが、病院と、そこに携わる人の隅々まで安全管理の仕組みと意識を行き渡らせ、安心して医療が受けられる体制にしてほしいものです。

特定保健用食品

厚生労働省が認可する「特定保健用食品(特保)」に、新タイプの商品が続々と登場し、テレビCMなども盛んで売れ行きも好調と、注目を集めています。

認可制は平成3年にスタートしましたが、当初は「整腸作用」をうたう乳酸菌飲料等が主体となり、平成11年末でも認可された171品目の中で約7割を占めていました。

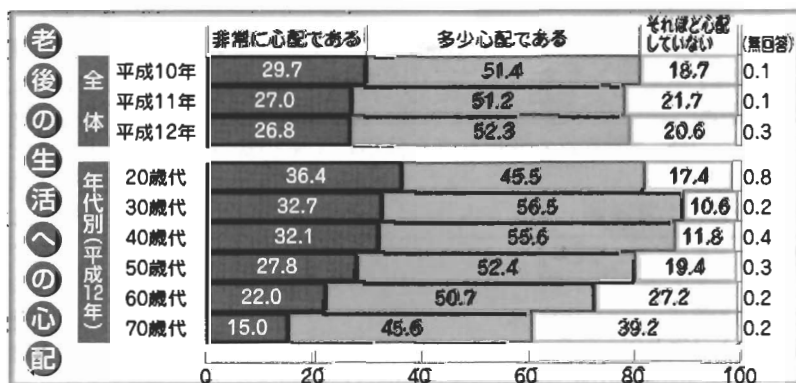
ところが平成12年に入ると血中の脂肪・コレステロール値を抑え、高血圧症状を防ぐといった効果をうたう商品が増加し、さらに骨の形成に効果があるという商品も登場、認可商品全体も約250品目に増加し、その内のいくつかは売り上げを急速に伸ばしています。

「サプリメント」という言葉が液剤・錠剤もあるなど「補助食品」より「薬品」に近い感じがするのに対し、「特保」はチューインガムも含むが「食品」と明記されている点が違うところです。将来性の期待も高く、「10年後には7000億円産業か」との説もあるほどです。

老後の生活「心配している」が引き続き高水準 —貯蓄と消費に関する世論調査(金融広報中央委員会)より—

全国の普通世帯(世帯員2名以上の世帯)の生活設計や家計管理の状況などについて、政府や民間の金融機関等によって組織される金融広報中央委員会が調査(平成12年実施)した結果、老後の生活について「心配している」世帯は約79%と、高水準で推移していることがわかりました。心配している理由としては、前年対比で「年金や保険が十分ではない」、「現在の生活にゆとりがなく、老後に備えて準備していない」が増加しています。

また、世帯主の年齢別に見てみると、若い世代ほど老後への不安感が大きいことがわかります。このことは、不況が長期化し所得の伸び悩み等で、国民の間に将来への不安感が広がっていることが影響しているものと思われます。有効な経済対策で早急な景気回復が望まれるところです。



★★★ 新入会員を紹介します ★★★

入会年月日	氏 名	地 区	形 態
H13.2.1	廣瀬真希子	京 橋	開業
H13.2.1	麻生 敏和	麴 町	勤務
H13.2.1	山田 泰久	麴 町	勤務
H13.2.1	川述 洋	神 田	勤務
H13.2.1	伊藤 大祐	日本橋	勤務
H13.2.1	久住 裕子	日本橋	勤務
H13.2.1	樋口 一樹	日本橋	勤務
H13.2.1	横山 静夫	日本橋	勤務
H13.2.19	中西 幸一	麴 町	開業
H13.3.1	田隅 美穂	神 田	開業
H13.3.1	平野 嘉重	京 橋	開業
H13.3.1	鎌野 京子	麴 町	勤務
H13.3.1	松崎 直彦	麴 町	勤務
H13.3.1	池田 豊	神 田	勤務
H13.3.1	野口 裕	神 田	勤務
H13.3.1	久我 裕	日本橋	勤務
H13.3.1	高橋 聡子	日本橋	勤務
H13.3.1	中澤 清隆	日本橋	勤務
H13.3.1	増田 裕之	日本橋	勤務
H13.3.1	森田 清子	日本橋	勤務
H13.3.1	小田和 悟	京 橋	勤務
H13.3.1	黒川 博明	京 橋	勤務

入会年月日	氏 名	地 区	形 態
H13.3.1	渡邊 華子	京 橋	勤務
H13.4.1	藤瀬 和生	麴 町	開業
H13.4.1	横田 和宏	麴 町	開業
H13.4.1	岩根 裕一	麴 町	勤務
H13.4.1	海老原 正	神 田	開業
H13.4.1	高橋 愼直	神 田	開業
H13.4.1	西宮 英昭	神 田	開業
H13.4.1	横山 晴美	神 田	開業
H13.4.1	丹野 典子	神 田	勤務
H13.4.1	水野さおり	神 田	勤務
H13.4.1	佐藤 利信	日本橋	勤務
H13.4.1	本田 明子	日本橋	勤務
H13.4.1	矢野平吉広	日本橋	勤務
H13.4.1	佐々木重輝	京 橋	開業
H13.4.1	伊藤 洋一	京 橋	勤務
H13.4.1	内山 浩一	京 橋	勤務
H13.4.1	栗原志津子	京 橋	勤務
H13.4.1	竹内 龍也	京 橋	勤務
H13.4.1	三輪 和己	京 橋	勤務
H13.4.4	近藤 太	神 田	勤務
H13.4.6	田村 順子	麴 町	勤務

千代田・中央支部ボウリング大会終わる

さる3月14日(水)、千代田・中央支部主催のボウリング大会が開催され、好評のうちに幕を閉じました。参加された皆様、お疲れさまでした。

結果は次のとおりです。(数字は2ゲームの合計点です)

- 1 位 高根 祐司 372 (麴町)
- 2 位 柿内 素樹 309 (麴町)
- 3 位 加藤 匡 297 (神田)

表紙写真を募集いたします

千代田・中央支部会報の表紙写真を募集します。奮ってご応募ください。

採用分にはお礼を差し上げます。

題 材：自由(モノクロ・またはカラー。但しカラーの場合でもモノクロとして使用することがあります)

〆 切：平成13年8月15日(水)

送付先：(株)法研 営業部 営業4課 野口宛
(〒104-8104 中央区銀座1-10-1)

あ と が き

再び、広報委員長を仰せつかった。

広報(会報)の要点は、その会報が常に新鮮で皆さんの役に立つものであることだ。

つまり、マンネリに陥らないということだろう。

今までの千代田・中央支部会報、果たしてマンネリズムになっていなかったかと、常に自戒しているつもりだったがどうだったのか。これからも会員諸兄姉の厳しいご叱正をお願いする次第だ。

編集会議では、基本方針として①実務を中心に、②分かりやすい紙面を、③速報性重視—発行日厳守、などを確認しあった。

各号のメイン記事は各種研修会の内容や業務上必要な情報の掲載など。これは何らかの都合で研修会に参加できなかった会員への情報伝達の意味をこめている。

いよいよ夏本番、さて皆さん、今年はどんな夏を過ごすのか。算定でそれどころではないとの声も聞こえるが、それも多分、今年と来年だろうか?(平成15年からは7月が算定月になる見込み)

9月には皆さんの夏の思い出話を楽しみにしています。

(牧野武夫)